

第4回新城市福祉従事者支援施策推進会議（要約）

日 時 令和7年12月24日（水）

午後2時00分～

場 所 新城市役所4階 4-3会議室

※八木委員は選考委員会に出席したが、推進会議は欠席した。

議題

1 令和7年度福祉従事者支援施策の具体化について

(1) 「キラリしんしろ☆福祉賞」について

- ・応募状況等について 5団体7人が受賞した。
- ・受賞者の減少、福祉従事者はボランティアもふくむ。ボランティアの定義は難しいが、枠を広げることも考えてもいい。
- ・キラリしんしろ☆福祉賞表彰式のシナリオなどについて説明する。
①司会者から趣旨説明②スライドで受賞者紹介③授与式④一言ずつコメント
- ・要約筆記についてメインのスクリーンとは別に映し出す。出席を依頼する。
- ・手話、要約筆記について事務局で調整を行う。
- ・人のうち1名が欠席。全員のコメントをお願いしていく。
- ・司会は、熊谷委員に決定した。
- ・次回連絡会は、1月16日（金）13:30～ 加藤委員欠席。

2 令和8年度福祉従事者支援施策の(具体的)事業計画について

令和8年度以降の市内小・中学校における「福祉に触れる機会」の充実について

- ・事務局から視察の報告を行う。
(視察を終えて委員からの意見)
- ・児童生徒が普段とは違う時間という点で真剣に取り組んでいる様子が見られた。こうした取り組みが福祉に興味を持ってもらえるといい。
- ・年を空けて同じ体験をもう一度やるとまた、別の見方ができるのではないか。
- ・プレコンセプション、子どもと触れ合う時間はとてもいい。
- ・校長会、校長研修会でプレゼン等をしてもらえると校長の反応がいいと思う。
- ・視察を行い、専門職の目線で推進会議の中で意見を学校教育課の委員へ伝えていくことは来年度も実施していく。

(具体的内容の例について委員からの意見)

- ・孤独の問題→孤独・孤立問題
- ・障がい→障害
- ・児童福祉については、対象が子どもであるのでシビアな問題となる。
しかしながら、虐待予防を知る取組みとなり、やる意味はある。
- ・「高齢者福祉」として、学校へ出向いて子どもの前で話した経験が職員にない。
- ・コミュニティースクール制度の一環で「学校運営協議会」を設置する。来年度市内19校中10校となっている。校長の方針にもよるが、提案する事業が実現する可能性もある。

3 次回（第5回）開催日について

日時：令和8年3月30日（月）午後1時30分から

場所：新城市役所4階 4-3会議室

（委員から意見）令和8年度事業を実施していくにあたって、臨時に会を開くことも必要ではないか。

その他

- ・韓国からの視察受入れについて（報告）
- ・アプレンティスシップについて（別紙）
- ・市民福祉フォーラムを終えて（別紙）

委員の選定について

- ・構成員の選定について、規約の明確化を行う。事務局で検討する。